

リスクコミュニケーターの育成について

千葉県では、例年リスクコミュニケーションを開催していますが、リスクコミュニケーターが育っていない現状があります。

そこで、今後、リスクコミュニケーションを効率的に開催するため、地域におけるリスクコミュニケーターの育成が必要であることから、育成講座の開催について検討いたします。

育成講座（案）

「食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座」

受講対象：千葉県職員（保健所の食品業務担当者）

講師：内閣府食品安全委員会事務局

時間：1日

内容

- ・講義：リスクコミュニケーターに関する講義
- ・演習：ワークショップに関する演習

（参考）

裏面に「食品安全委員会が過去に開催したリスクコミュニケーター育成講座の内容」を記載してあります。

リスクコミュニケーター

消費者、事業者など様々な関係者の立場や主張を理解しつつ、意見や論点を明確にし、相互の意思疎通を円滑にする役割を担う人材や、科学的知見に関する情報を分かりやすく説明する能力を有する人材のこと。

ワークショップ

比較的小規模で開催されることが多い講習会や研究会。参加者が共同で作業や討議を行いながら、技術等の向上を図る場のこと。

食品安全委員会が過去に開催したリスクコミュニケーター育成講座の内容

【講座プログラム】

- (1) 開会
- (2) 開会挨拶
- (3) 趣旨説明
- (4) DVD上映 「21 世紀の食の安全～リスク分析手法の導入～」
(内閣府食品安全委員会事務局)
- (5) ファシリテーション基礎講座
講師：内閣府食品安全委員会事務局
 - 9 : 5 5 ~ 1 0 : 0 5 (1 0 分) 導入とオリエンテーション
 - 1 0 : 0 5 ~ 1 1 : 0 5 (6 0 分) 講義「ファシリテーションとは」
 - 1 1 : 0 5 ~ 1 1 : 5 0 (4 5 分) 基本トレーニング
 - 1 1 : 5 0 ~ 1 2 : 0 0 (1 0 分) 説明「ワークショップとは」
 - < 1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0 休憩 > (6 0 分)
 - 1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 3 0 (3 0 分) アイスブレイク
 - 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0 (9 0 分) 使えるワークショップ1…対人関係の
スキル
 - < 1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 1 0 休憩 > (1 0 分)
 - 1 5 : 1 0 ~ 1 6 : 4 0 (9 0 分) 使えるワークショップ2…構造化の
スキル
 - 1 6 : 4 0 ~ 1 7 : 0 0 (2 0 分) ふりかえり記載の時間は目安です。
- (6) 閉会